



各 位

平成 28 年 10 月 19 日

会 社 名 三菱自動車工業株式会社  
代表者名 取締役会長兼取締役社長 CEO 益子 修  
コート番号 7211 東証第 1 部  
問合せ先 常務執行役員 事業管理本部長  
北村 康一  
( T e l . 0 3 - 3 4 5 6 - 1 1 1 1 )

### 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 6 月 22 日に公表しました平成 29 年 3 月期連結業績予想を下記のとおり修正し、特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせ致します。併せて、未公表としておりました平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想を今回新たに下記のとおり公表いたします。

#### 1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 29 年 3 月期連結業績予想数値（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,910,000	百万円 25,000	百万円 32,000	百万円 △145,000	円 銭 △147.44
今回修正予想 (B)	1,840,000	△28,000	△28,000	△240,000	△244.04
増 減 額 (B - A)	△70,000	△53,000	△60,000	△95,000	△96.6
増 減 率 ( % )	△3.7%	—	—	△65.5%	△65.5%
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	2,267,849	138,377	141,027	72,575	73.80

(注)「1株当たり連結当期純利益」につきましては、第 2 四半期末時点の発行済株式数（自己株式数を除く）により算定しております。

(2) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株 当 たり 連結四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	864,000	△32,000	△28,000	△220,000	△223.70
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	—
増 減 率 ( % )	—	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期 第 2 四半期)	1,069,801	58,426	58,517	52,076	52.95

## 2. 修正の理由

前回の通期発表予想に対し、以下の点において営業利益予想の修正及び新たに特別損失の計上を行いました。

- ① 新興市場（中東・中南米等）を中心とした市況回復の遅れに伴う台数・車種構成等影響 : △100 億円
- ② 想定為替レートの足許実勢水準への見直し : △340 億円
- ③ 市場措置費用の追加 : △380 億円
- ④ 水島製作所の減損見直し（特別損失） : △155 億円

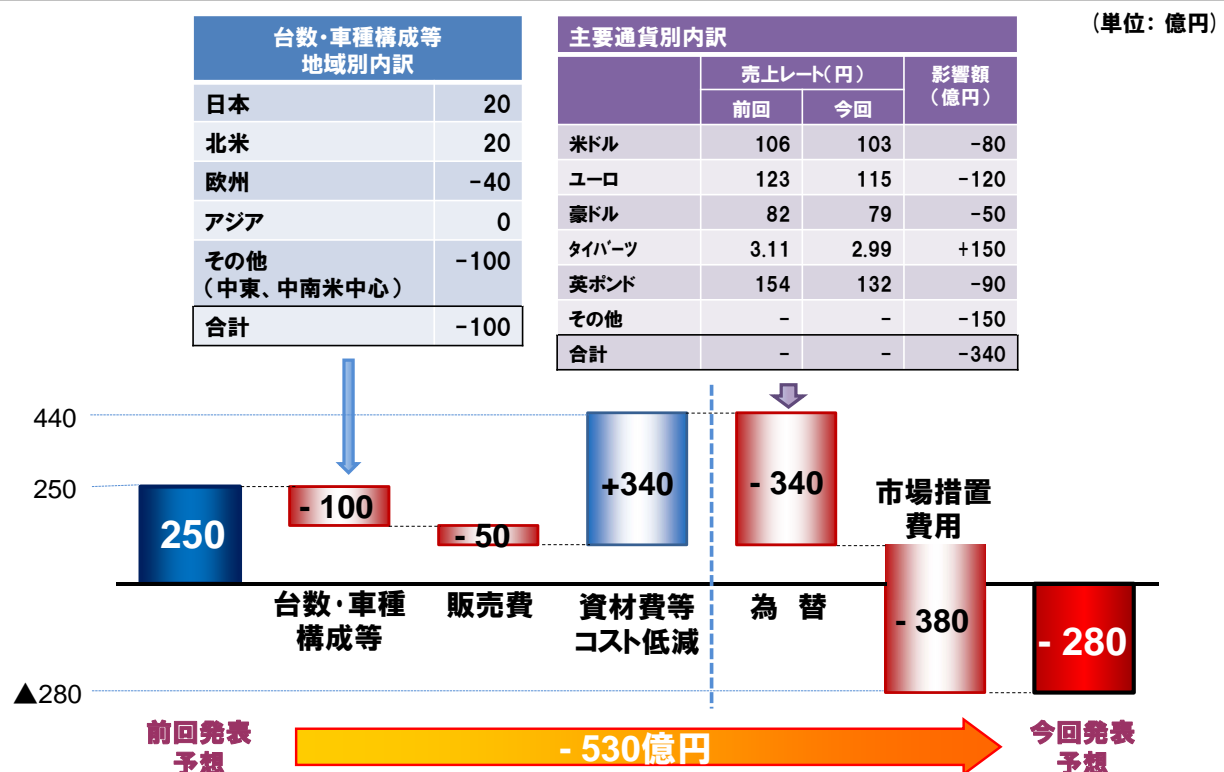
なお③については、安全・安心を最優先に、今後発生可能性が見込まれる費用について会計上合理的に判断できる範囲で見積もった結果、市場措置費用が増加したものです。

これに加え、上記④の水島製作所の減損見直しにより 155 億円、海外子会社の設備減損や海外投資の再評価などで、親会社株主に帰属する当期純利益は△2,400 億円（前回発表予想から△950 億円の下方修正）の見通しとなりました。

また、第 2 四半期（累計）連結業績予想数値は未定としておりましたが、営業損益は市場措置費用の追加影響等により△320 億円の赤字、親会社株主に帰属する四半期純利益は燃費関連損失等を含め△2,200 億円の赤字見通しとなりましたので、公表いたします。なお、第 2 四半期決算発表につきましては、10 月 28 日（金）を予定しております。

## 3. ご参考

### 2016年度 営業利益見通し増減分析【前回発表予想対比】



- 台数・車種構成等の損益悪化をコスト削減で挽回。
- 但し、為替影響（外部環境）の変化と市場措置費用の追加の影響がいずれも大きく、赤字見通し。

当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う影響（平成 29 年 3 月期決算）

項目	前回発表予想 (億円)	今回発表予想 (億円)	増減 (億円)	備考
営業利益への影響	△550	△400	+ 150	国内販売台数及び部用品販売減、 愛車無料点検、国内販売対策費用 など
特別損失	△1,500	△1,650	△150	
お客様へのお支払い	△500	△560	△60	
上記以外のお客様 窓口関連	△150	△160	△10	事務局費用、お詫びDM費用など
販売関連	△400	△420	△20	日産自動車・両社販売会社向けのお 支払い、在庫販売対策費用など
生産・購買関連	△350	△400	△50	サプライヤー向けのお支払い、水 島製作所の一時帰休費用・固定資 産減損など
その他	△100	△110	△10	サービスクャンペーン費など
合計	△2,050	△2,050	±0	

- 営業利益影響は一部項目の特別損失への振替え、国内販売の上振れ等で改善の一方、特別損失は水島製作所の固定資産減損見直し等で増加した結果、全体影響額は不変。

連結販売台数（小売）通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）予想： (千台)

	前回発表予想	今回発表予想	増減	前年度実績
日本	60	64	+4	102
北米	138	143	+5	135
欧州	187	181	△6	206
アジア	331	319	△12	322
その他	246	226	△20	283
合計	962	933	△29	1,048

連結販売台数（小売）第 2 四半期累計（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）予想： (千台)

	前回発表予想	今回発表予想	増減	前年同期実績
日本	—	29	—	46
北米	—	69	—	69
欧州	—	90	—	104
アジア	—	140	—	152
その他	—	108	—	150
合計	—	436	—	521

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

以 上